

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法特論	PSP44-002	必修	2	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也 他	D311	kasuyama		月曜 9:00-10:30	
授業の目的・概要	4年間で学んだ理学療法士に関する知識と経験を総合的に学習する。さらに、臨床現場における最先端の知見や臨床的思考を講義中心に学習し、理学療法士としての基礎的思考と態度を身に付ける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	過去に実施された国家試験問題を参考に、基礎医学、専門分野について講義と解説を行う。最低でも過去10年間分の理学療法士国家試験を事前に解答し疑問点を準備して受講して欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	特になし。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法士に要求される基礎医学知識を修得する。			PT (1) ~ (6)	
②	理学療法士に要求される臨床医学知識を修得する。			PT (1) ~ (6)	
③	理学療法士に要求される専門分野知識を修得する。			PT (1) ~ (6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	担当	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	整形外科疾患の概論と理学療法	[担当] 粕山 達也	講義	予習：整形外科課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
2	中枢神経系疾患の概論と理学療法	[担当] 高村 浩司	講義	予習：中枢神経課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
3	運動器系疾患 (骨折・靭帯損傷) の概論と理学療法	[担当] 源 裕介	講義	予習：運動器系疾患課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
4	運動器系疾患 (脊髄損傷) の概論と理学療法	[担当] 関口 賢人	講義	予習：運動器系疾患課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
5	循環器・代謝系疾患の概論と理学療法	[担当] 関根 聡美	講義	予習：循環器・代謝系課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
6	小児疾患の概論と理学療法	[担当] 粕山 達也	講義	予習：小児疾患課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
7	日常生活活動と理学療法	[担当] 坂本 祐太	講義	予習：日常生活活動課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
8	呼吸器系疾患の概論と理学療法	[担当] 粕山 達也	講義	予習：呼吸器系課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
9	義肢装具学の概論と理学療法 (義肢)	[担当] 福田 京祐	講義	予習：小児課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
10	義肢装具学の概論と理学療法 (装具)	[担当] 関根 聡美	講義	予習：義肢装具学課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
11	代謝系疾患の概論と理学療法	[担当] 粕山 達也	講義	予習：義肢装具学課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
12	神経難病の概論と理学療法	[担当] 粕山 達也	講義	予習：神経難病課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
13	物理療法の概論と理学療法	[担当] 関根 聡美	講義	予習：物理療法課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
14	生体力学と理学療法	[担当] 石井 智也	講義	予習：生体力学課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
15	リハビリテーション概論	[担当] 三科 貴博	講義	予習：概論の課題の実施 復習：講義ノートの作成	4
試					

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	出題形式は五者択一（及び二）の国家試験形式にて客観的試験を行う。				試験終了後、解説を行う中で設問の意図と模範解答を示す。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	高村 浩司、三科 貴博、関口 賢人、関根 聡美、坂本 祐太、源 裕介、石井 智也、福田 京祐							
教員の実務経験	理学療法士としての国家資格を有しており、臨床現場での必要な知識を網羅した授業を実施する。							
実践的授業の内容	国家試験内容に準じた出題範囲を整理するとともに、臨床実践場面を想定した各学問の応用方法と臨床思考過程について指導する。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 講義は対面授業にて実施します。実習時期に合わせて開講するため、日程は別途連絡する。 今後の感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される場合がある。 							